

2021（令和3）年度 事業報告

社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会

中野区立かみさぎこぶし園

東京都手をつなぐ育成会統一ミッション

「私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害のある人もない人も共に社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送ることができる社会の実現を目指します。」

中野区立かみさぎこぶし園サブミッション

「利用者の人権と意思を大切にし、人と人との関わりを通して、健康で豊かな地域生活を安心して送れるよう支援します。」

1. 全体状況

令和3年度も引き続き新型コロナウイルスの流行への対応を余儀なくされ、園祭を始めとして外出のイベントなどを中止せざるを得なかった。それぞれのイベントについては感染状況が落ち着いている時期を見計らい、園内において「プチフェスティバル」や近隣のお店でスイーツ等を購入する企画などに変更して、利用者が楽しめる内容を実施した。また日々の感染予防を徹底することで、園内における感染者のクラスターを発生することをおさえ、閉所することなく運営をすることができた。

利用者の権利擁護を高める取り組みとして、「虐待防止委員会」の内容を充実させた。各職員に「虐待防止チェックリスト」による自らの支援を振り返る機会を増やすことや、毎月実施されるグループ会議内において「小さな気付き」として利用者支援におけるグレーな対応を挙げ、委員会の中でこぶし園として利用者支援の共通認識を高めることができた。

1年間を通し、職員同士のコミュニケーションを深めることを意識することで、風通しの良い環境をつくることができた。

2. 本年度重点目標に対する結果

(1) 身体機能カンファレンス実施による機能維持体制の強化

理学療法士・作業療法士と共に、身体機能に関するカンファレンスを実施した。利用者個々の課題に対し、的確なストレッチやトレーニングを設定し取り組むことで、身体機能維持につなげた。また、取り組みの中で出た新たな課題を来年度の個別支援計画に盛り込み、更なる機能維持につなげることができた。

(2) 人権意識向上による尊厳を守る支援の徹底

日々の支援で気になる対応について意見を出し合い、「小さな気付き」としてグループワークを実施した。グループワークで出た意見を虐待防止委員会で集約し、施設としての対応を統一することで、グレーな支援を限りなくホワイトに近づけ、虐待の芽を早期発見、改善することができた。また、これらの取り組みにより、職員同士がお互いに意見を出し合える風通しの良い環境が構築された。

(3) 自己育成型の職員スキル向上の取組み強化

職員個々が半期もしくは年間の目標設定を行い、目標に則した研修の受講など具体的なスキルアップの取り組みにつなげた。自己で完結するだけでなく、お互いの進捗状況をグループ内で共有し、フィードバック研修などに活かすことで、本人の更なる理解と現場への還元を行うことができた。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

中野区が設置する「社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会 中野区立かみさぎこぶし園（以下「事業所」という）が行う指定生活介護の事業（以下「事業」という。）の適正な運営を確保する為に人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の従業員が、利用者に対して、適正な指定生活介護を提供することを目的とする。

(2) 名称及び所在地

名称	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 中野区立かみさぎこぶし園
事業所番号	1 3 1 1 4 0 0 0 1 2
所在地	東京都中野区上鷲宮一丁目2 1 番 3 0 号
電話	0 3 - 5 2 4 1 - 8 1 2 1

ファックス	03-5241-8123
電子メール	kobushi@ikuseikai-tky.or.jp
HPアドレス	http://www.ikuseikai-tky.or.jp/~iku-kamisagi/

(3) 設立

設立年月日	平成6年10月1日
事業開始	平成17年4月1日（指定管理開始日） 平成27年4月1日
事業種別	①障害福祉サービス事業（生活介護） ②東京都重症心身障害児（者）通所事業地域施設活用型（平成28年3月18日 事業開始） ③指定特定相談支援事業（平成27年6月1日 事業開始） ④中野区障害者施設入浴事業 ⑤中野区障害者通所施設利用者時間外タイムケア事業

(4) 施設の規模

延床面積	1,262.22㎡	鉄筋コンクリート造地上2階建て
敷地面積	1,451.80㎡	

(5) 職員構成（令和4年3月31日現在）

① 職員構成

常勤	施設長	1名	非常勤	事務員	1名
	事務員	1名		支援員	4名
	看護師	2名		看護師	3名
	主任支援員	1名		理学療法士	5名
	支援員	16名		作業療法士	1名
嘱託医				5名	
指導医				1名	
合計		21名	合計		20名
合計		41名			

② 職員人事

事由	日付	職種	氏名	備考
異動 (転入)	令和3年4月1日	施設長		支援ハウス
異動 (転入)	令和3年4月1日	常勤支援員		とぶき育成園
異動 (転入)	令和3年4月1日	常勤支援員		えがおの家
異動 (転入)	令和3年4月1日	常勤支援員		城北地域生活支援センター
採用	令和3年4月1日	常勤支援員		
採用	令和3年4月1日	非常勤支援員		
退職	令和3年4月30日	常勤支援員		
退職	令和3年4月30日	非常勤職員		
採用	令和3年5月1日	常勤支援員		
採用	令和3年5月1日	常勤支援員		
採用	令和3年8月19日	非常勤 理学療法士		
異動 (転出)	令和4年1月1日	常勤支援員		子ども発達支援センター

(6) 利用者状況

① 利用対象者

ア. 利用対象者

当施設事業の障害福祉サービス受給者証を有する方。

イ. 定員（令和4年3月31日現在）

定員	45名	現員	45名
----	-----	----	-----

※東京都重症心身障害児（者）通所事業においては、1日の定員を5名とする。しかし、日々の通所者が定員を超えないように日々定員を導入する。

② 性別・年齢構成（令和4年3月31日現在）

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
男性	1名	7名	7名	5名	3名	23名
女性	2名	5名	7名	5名	3名	22名
合計	3名	12名	14名	10名	6名	45名

※平均 男性 35.1歳 女性 35.6歳 全体 35.6歳

③ 障害程度（令和4年3月31日現在）

身障手帳 愛の手帳	無し	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1度	1名	4名					1名	6名
2度	18名	8名	4名	2名	2名			34名
3度								0名
4度								0名
無し		5名						5名
合計	19名	17名	4名	2名	2名	0名	1名	45名

※車椅子利用者 常時19名（他に外出時等に利用5名）

④ 障害支援区分（令和4年3月31日現在）

障害支援区分	1・2	3	4	5	6	合計
人数	0	0	9	13	23	45

⑤ 入園前の状況（令和4年3月31日現在）

状況	在宅	特支卒業	他通所施設	入所施設	合計
人数	3名	35名	6名	1名	45名

⑥ 保護者状況

両親	父	母	兄妹	伯・叔父母	成年後見等
33人	1人	10人	0人	1人	0人

4. 事業実績

(1) 生活介護

① 日常生活支援

1階フロアは身体的配慮を行いながらの機能維持活動が中心となった。2階フロアは個々にあった身体を動かすプログラムや作業を提供し、テーブル拭きやタオルを畳むなど生活の質の向上を行った。

ア. 個別の週間プログラムを作成し、その日の体調に合わせた活動を提供した。

イ. スヌーズレン、アロマセラピー、ハンドマッサージ、エアポリン、足浴等、感覚刺激を取り入れた支援を行った。

ウ. 日常生活を向上させるための取り組みとして、テーブル拭きや洗濯物、施設の清掃などを利用者と共にを行った。

② 社会生活支援

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域交流や外出を通じた社会生活の充実は図れなかった。しかしながら、新たな生活様式に慣れていくためにも、近隣散歩時には積極的なマスクの着用を行い、社会状況に添った支援を行なった。

グループ お楽しみデー	施設内でのイベントに切り替えて実施。
グループ外出	施設内でのイベントに切り替えて実施。

実施月	お楽しみデー・グループ外出 内容
2月	顔パック、アロママッサージの実施。スイーツを堪能。
7月	スイーツお取り寄せ、スクリーンで映画鑑賞。
11、12、1月	最寄り駅付近でデザートを購入、スクリーンで映画鑑賞。
2月	節分ボーリング大会。

3月	ドライブスルーで昼食購入、ホバーサッカー大会。
----	-------------------------

③ 健康維持・体力作り

利用者のニーズと状況に合わせて運動の機会を提供した。PT、OT と連携して機能維持を目的としたストレッチ、運動や気分転換を目的としたバス利用による広い公園や近隣等の散歩も同時に行った。

④ 作業

作業療法士と連携しながら、活動内容の見直しや作業への参加方法を工夫した。利用者個々のプログラムを組み、生活力向上の為の取り組みとして、テーブル拭きや洗濯物、施設の清掃なども行った。

クッキー作り	プレーン、ココア、紅茶、抹茶、ゴマ、コーヒー販売
紙すき	牛乳パック再生はがきの作製
アロマソープ	ほのかに香るアロマソープの作製
トートバック	ステンシルを用いた手染めトートバックの作製

⑤ 作品

創作活動、作業で作製した作品は、施設内にて展示している。

⑥ クラブ活動

運動、音楽、美容健康、買い物の4つのクラブから選択し、午前中に開催。年間を通して固定のクラブに参加するのではなく、利用者の希望に合わせて複数のクラブに所属出来るようにし、色々なクラブに参加する機会を設けた。

⑦ 宿泊旅行

利用者の社会経験、余暇活動としての楽しみの機会や、家族と離れて過ごす経験として、年6回（利用者一人1回）1泊2日の宿泊旅行を計画した。新型コロナウイルス感染症の影響により、実施することが出来なかった。

⑧ 自治会活動(こすもす会)

利用者が自分たちで行事・レクリエーションを企画・運営し、施設運営についても話し合うことができるよう、自主的な活動を支援した。

⑨ 日課・週間予定

	月	火	水	木	金
9:30	送迎バス到着 更衣・排泄・水分補給				
10:00	ニーズ別活動		クラブ活動	グループ又は ニーズ別活動	
12:00	食事・片付け・歯磨き・お昼休				
13:30	ニーズ別活動		グループ又は ニーズ別活動		
14:45	帰宅準備・グループ別ミーティング				
15:30	送迎バス出発				

⑩ 年間活動・行事

開催月	行事名	内容
4・5・6 7・8・9 月	宿泊旅行	高尾コースで実施予定だったが中止。
6月	幼稚園交流	近隣幼稚園と交流し、作業を一緒に行い、園児が障害のある人と親しむ機会としていたが中止。
7月	地域交流会	地域住民へチラシを配り、障害の理解や施設を知ってもらう機会としていたが中止。
10月	こぶしフェスティバル	レインボーをテーマに地域祭りと共催で行う予定だったが中止。代替として施設内でプチフェスティバルを実施。
3月	納め会	年度の最後のイベントとして、各グループでイベントを実施。

(2) 東京都重症心身障害児(者)通所事業

月2回の指導医検診により、利用者健康状況の確認、看護師、支援員への助言、指導、連携の強化を行うことができた。また、職員対象の研修会を行い、重症心身障害に対する基礎知識、技術の向上につなげた。

(3) 指定特定相談支援事業

① 目的、基本方針

障害者に対して、適正な計画相談支援を行うことを目的とした。利用者が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、関係市区町村・地域の保健・医療・福祉サービス機関等との連携を図り、総合的なサービス提供に務めた。その提供する計画相談支援の評価を行い、常にその改善を行った。

② 利用対象者

かみさぎこぶし園通所利用者を中心に支援を行った。

③ 相談窓口の時間・開所日

毎週木曜日 国民の祝日・休日 12月29日～1月3日を除く

④ 利用者数

- ア. 新規計画作成件数 3件
- イ. 更新 24件
- ウ. モニタリング 27件
- エ. サービス担当者会議 0件

⑤ 事業内容

- ア. サービス等利用計画の作成
- イ. サービス等利用計画作成後の便宜の供与（モニタリング）
- ウ. サービス等利用計画の変更

⑥ 事業展望

ア. ご本人の希望する生活・意向に沿った計画を作成するために、気持ち安心マップを活用した。同時に、充実した地域生活を送ることができるよう、関係機関との連携を強化した。

イ. 障害の高齢化・重度化に伴い生じる生活状況の変化に対して迅速に対応した。

(4) 中野区障害者施設入浴事業

中野区障害者施設入浴事業実施要綱に準じ、サービスを提供している。

5. 権利擁護

(1) 事業所としての取り組み、方針

法人の理念に基づき利用者一人ひとりの人権と意思を尊重した支援を行った。身体拘束、行動制限の実施については規程、規則通りに対応し、権利擁護もしくは虐待防止委員会を通じて実施し、透明性を確保した。

(2) 虐待防止委員会

事業所	虐待防止責任者	施設長
	虐待相談担当者 (窓口)	主任支援員
	虐待防止委員	推進責任者 支援員 推進責任者 支援員 支援員 支援員 支援員 看護師 家族会代表 家族会会長
	虐待防止責任者	理事長
	虐待相談担当者 (窓口)	
	虐待防止委員	理事長 副理事長 副理事長 常務理事 理事 理事 弁護士

① 実施内容

4月1日	虐待防止チェックリストの見直し	8名
4月12日	虐待防止研修振り返り	8名
5月6日	虐待防止チェックリストの再検証	8名
8月4日	虐待が疑われるケースの検討(1件)	8名
10月6日	虐待が疑われるケースの検討(2件)	8名
11月18日	今後の取り組みについて確認	4名
1月5日	グループ虐待防止会議の共有	7名
1月20日	アンガーマネジメント研修開催	20名
2月2日	活動規範の見直しについて	7名
3月29日	来年度の取り組みについて	8名

(3) 苦情解決第三者委員

「利用者・家族から意見や要望が出やすい環境にし、早期に対応できる体制を作る」事を目標に、苦情解決責任者及び苦情解決担当者の配置と窓口の明確化、さらに第三者委員と家族の歓談会を開催して、苦情を密室化せず、社会性や客観性を確保した一定のルールに沿った方法で解決を進めた。

苦情解決担当者	主任支援員 支援員
苦情解決責任者	施設長
法人苦情窓口	(03) 5389-2600
第三者委員	近隣代表
その他の受付機関	中野区福祉オンブズマン室 (03) 3228-8757 東社協福祉サービス運営適正化委員会 (03) 3268-1148

(4) 個人情報保護規程・情報公開規程

中野区個人情報の保護に関する条例・育成会個人情報保護、情報公開に関する規程を遵守した。

(5) 障害者差別解消法対応

「障害者差別解消法福祉事業者向けガイドライン」(厚生労働省)に則り、事業者として、日頃の支援が障害者に対する不当な差別的取扱いとならないよう、必要かつ合理的な配慮を行った。

対応受付担当者	主任支援員
対応責任者	施設長

6. 医務

(1) 健康管理

利用者の重度・重複・高齢化を考慮し、主治医・関連医療機関との連携を密にし、健康で安全な生活が送れるようにする事を目標に行動した。看護師を中心に日々のバイタルチェック、嘱託医の定期的な検診を行った。利用者健康診断結果を踏まえ、支援内容の見直し等を行った。

(2) 実施体制

診療科等	指導医	内科	歯科	耳鼻科	精神科	整形外科
年間	2 3 回	3 回	6 回	2 回	2 回	1 回

(3) 感染症予防・対応

かみさぎこぶし園感染症マニュアルに基づいて対応した。感染（インフルエンザ等）が発生した場合は、職員だけではなく、家族、区に連絡をして、感染拡大を防いだ。11月に園でインフルエンザの予防接種（実費負担）を希望者に行った。また、新型コロナウイルスに関しても、区と連携を取り、施設内でのクラスター発生防止のため、入場制限や手洗いうがいの徹底など、最大限の予防対策を実施した。

(4) 理学療法・作業療法

理学療法士・作業療法士・支援員が緊密に連携し、利用者が作業しやすい環境や用具を作成し、個人に合った作業内容・作業方法を提供した。また、ストレッチなどの直接訓練を行い機能維持、機能低下の防止に努めた。ケース会議や日々の書類のやり取りを通して、支援員に日常的な支援方法についての指導、助言を行ない日中のプログラムで活用した。

(5) 医療的ケアの実施

中野区医療的ケア実施要綱に準じて医療的ケアを実施した。

(6) 重症心身障害者支援における医療面の勉強会

園内勉強会を下記内容で行った。重症心身障害者の身体状況の理解を深め、より良い支援につなげた。

日時	令和3年12月17日（金）
講師	心身障害児総合医療療育センター 中谷勝利医師（当園指導医）
テーマ	『嚥下について』
参加人数	21名

7. 給食・調理

(1) 実施状況

利用者の現状に合った食形態、食事量、栄養バランスのとれた食事を提供するため、月に1回施設長、委託業者担当、管理栄養士、園給食担当者、

看護師で会議を行った。

(2) 衛生管理

給食の衛生管理は委託業者の基準で行い、年1回、業者の衛生管理担当が巡回検査を行う。また中野区保健所の検査も年1回受けおり、大きな問題の指摘ない。安定して衛生状態を保っている。

(3) 実施体制

① 委託業者

一富士フードサービス株式会社	東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア11階
----------------	----------------------------------

8. 危機管理

(1) 事故防止・対応

実際の事故が起きた場合、「事故報告書」で整理し、事故当日に原因と改善点を話し合い、次日の朝礼に報告共有し、一ヶ月後には事故防止策の振り返りを行い、事故防止につなげている。

(2) 緊急時対応等

「危機管理マニュアル」を整備し、緊急時対応に備えた。また、事業継続計画（BCP）も整備し、災害時の対応についても定めた。外出時に連絡を取ることが出来るように、専用の携帯電話を用意した。さらに、休日は園長または主任と連絡が取れるように専用携帯電話を持って対応した。

(3) 情報漏洩対策

中野区、法人の各規定に添って対応。中野区とは「個人情報の取り扱いに関する誓約書」を毎年取り交わした。個人情報はすべて職員室内で保管し、必ず施錠をして職員室からの持ち出しは厳禁とした。また、持ち出す場合は、園長（または主任）の許可を得て、台帳に記載した。勤務中の個人携帯電話とインターネット端末等の所持は厳禁とした。

(4) 特定個人情報管理

特定個人情報は、法人「特定個人情報取扱規程」の則り、管理区域、取り扱い区域を設け、取扱責任者、取扱担当者のみが取り扱い、決められた目的のみに使用した。職員等からの収集番号は、規定に則り、適切な方法で行った。

職 名	氏 名
管理責任者（法人）	法人本部事務局長
取扱責任者	施設長
取扱担当者	事務員

9. 防災

（1）自衛消防体制

火災や地震による災害の予防対策や避難訓練等を毎月実施した。今年度は新たに、災害時対策組織図や対応フローチャートを作成し、各活動部屋に掲示するなど、基盤の強化を行った。また、近隣に協力を得ることを前提に、地域町会防災部と総合避難訓練を行い災害時に備えた。

（2）避難訓練

月	訓練内容	実施内容
4月	消防計画訓練	役割分担・一時避難場所・避難路・消火器設置場所等の確認
5月	地震時避難訓練	地震を想定した訓練を実施
6月	地震時避難訓練	地震を想定した訓練を実施
7月	火災時避難訓練	出火を想定した訓練を実施
8月	火災時避難訓練	出火を想定した訓練を実施
9月	災害時 ハザードマップ確認	緊急連絡先の確認・保護者会にて図上訓練（広域避難場所確認）
10月	火災時避難訓練	出火を想定した訓練を実施
11月	起震車訓練	起震車を依頼して大きな揺れを体験
12月	地震時避難訓練	地震を想定した訓練を実施

1月	地震時避難訓練	地震を想定した訓練を実施
2月	非常用倉庫の確認	非常用倉庫の整理と確認
3月	総合防災訓練	消防隊員を招いての訓練を実施 通報訓練の実施

(3) 大規模地震・災害対策

大規模地震・天候不良による災害対策は対応策を職員家族へ周知した。緊急時連絡網（電話及びメール）を作成して、職員へ配布した。家族とは終日連絡を取ることが出来るよう、施設長（不在時は主任）が専用の携帯電話を常に所持した。

また、今年度も年2回の地域防災部との合同避難訓練を開催して、障害の理解、職員との連携を深める機会とした。

10. 家族（保護者）との連携

(1) 家族連絡会

2ヶ月に1回程度、園内でご家族との情報交換や日々の活動についての報告、最新の制度やサービスの説明、園の運営についてご意見を伺う場としていたが、今年度は来園しての連絡会は年間を通して3回の実施にとどまった。必要な情報に関しては、メールや配布物を使用し情報発信し、園の状況をご家族に随時お伝えした。

(2) 個別支援計画の作成

利用者・家族との電話面談から、希望や意向等を聞き取り、個別支援計画を作成した。サービス等利用計画との連動を意識し、利用者・家族のニーズ実現に取り組んだ。

(3) 家族・利用者個人面談

年間2回個別支援計画の策定を目的とした電話面談を行った。内容として、家庭・園での様子や支援内容の希望等を話し合い、日々の支援に活かした。

(4) 家族との連絡帳

家庭と施設の連携を目的として、毎日連絡帳で連絡を取り交わした。内容としては日々の様子、看護師や各療法士など専門職からの意見を伝えた。必要に応じて電話や手紙での対応も行い、密な連携が取れるようにした。

(5) 家族連絡会実績

内容	回数
家族連絡会	3回
グループ懇親会	中止
個別面談（電話）	87回
家庭訪問	15回

1.1. 地域との連携

(1) 地域交流

予定していたかみさぎ幼稚園、上鷲宮小学校との交流も中止となってしまったが、区民活動センターとの関わりを継続し交流を行った。

(2) 地域関係団体・事業所との連携

① 地域業者との連携

暮らした地域で長く生活をしていくこと、ご家族の介助負担の軽減を目標に、各種サービスの提案とそれに伴う施設間連携を行った。それにより、家庭の状況把握と状況にあったサービスの提案が出来た。引き続き、短期入所及び緊急一時保護施設を利用時の送迎を行った。

② グループホームバックアップ

地域障害者の居住施設等との連携、利用者状況の把握、緊急時の対応など、臨機応変に対応を行った。

③ 親の会、障害者団体、医師会との連携

中野区愛育会、中野区肢体不自由児者父母の会の定例会に参加して、意見交換を図った。嘱託医・指導医と連携することで、利用者状況の相談や園内研修を開催することができた。

④ 広報活動

ホームページを二週間に一回程度更新することで、学生や近隣の方、利用者の家族などに施設の様子を伝えた。

1.2. 会議・委員会

(1) 定例会議

月1回	各委員会会議	月1回	リーダー会議
月1回	グループ会議	月1回	フロア会議
随時	支援員会議	月1回	各業務会議

月 1 回	給食会議	随時	職員会議
-------	------	----	------

定例会議は年間予定に添って行った。今年度の目標を「就業時間内での業務終了」としていた。職員全体が、意識を持って行動し「議題を事前に配布」「時間の配分」等を行い、効率的な会議を持つことが出来た。

(2) 委員会

① 虐待防止委員会

施設長、主任支援員、看護師、支援員代表 5 名で、毎月開催されるリーダー会議内において実施した。年 2 回保護者代表、苦情解決第三者委員の方にも参加して頂く予定ではあったが、コロナ禍のため書面にて取り組みの説明とご意見を頂いた。身体拘束、行動制限の実施については規程、規則通りに対応し、権利擁護を進める体制を整えている。今年度は、希望の多かったアンガーマネジメント研修を施設内で実施し、それぞれが自身の内面と向き合う良い機会となった。継続して虐待チェックリスト、小さな出来事一覧を活用し、各グループで支援の振り返りを定期的に行なった。それにより、意見の出しやすい環境が整備され、不適切な支援や虐待の芽を早期に発見、虐待を未然に防ぐことにつながった。

② 事故防止委員会

施設長、主任支援員、看護師、支援員代表 5 名で、毎月開催されるリーダー会議内において実施した。事故報告書の書式変更や事故分類フローチャートの更新などを委員会が中心となって行った。それらの取り組みが、事故原因の明確化、対応策の具体化につながった。また、事故報告手順を明確に示したことで細かな相談や報告が増え、事故について職員全体で共有しようという意識改革にもつながった。

1 3 . 研修計画・大会参加

(1) 研修実績

① 育成会関係

4 月 5、1 2、1 4 日	法人新任研修（3 日間）	2 名
6 月 1 8 日	法人入職 2 年目研修（Web）	2 名
6 月 2 1 日	法人入職 2 年目研修（Web）	2 名
6 月 2 2 日	法人内体験研修 （ひだまりの里きよせ：事務員）	1 名

6月30日	法人初級中級研修（Web）	3名
7月6日	法人人事考課中級編	1名
7月9日	東京都育成会大会 オンデマンド	2名
10月8日	大研修会 オンデマンド	2名
10月11日	法人入職2年目研修（Web）	1名
10月12日	法人入職2年目研修（Web）	1名
10月21日	法人体験研修（石神井福祉園）	1名
10月26日	自閉症支援研修①（Web）	2名
12月14日	法人人事考課フォローアップ研修（基本編）	1名
12月16日	相談支援他施設研修 「練馬区大泉学園地域生活支援センターさくら」	1名
2月4日	法人実践事例発表会（Web）	2名
2月24日	自閉症支援研修②（Web）	2名
3月15日	法人体験研修（新宿生活実習所）	1名

② 中野区関係

1月31日	相談支援専門員研修会（Zoom）	1名
2月4日	相談支援専門員研修会（Zoom）	1名

③ 東京都福祉保健局

11月7日	発達障害についての医療従事者向け講習会第1回（Zoom）	3名
11月28日	発達障害についての医療従事者向け講習会第2回（Zoom）	2名

1 2 月 5 日	発達障害についての医療従事者向け講習会第 3 回 (Zoom)	3 名
-----------	------------------------------------	-----

④ 東社協関係

6 月 1 6 日	強度行動障害支援 公開基礎研修 (ZOOM)	1 名
7 月 3 日	精神・神経薬について (ZOOM)	3 名
7 月 1 9、2 1 日	サービス管理責任者ファシリテーター研修	1 名
9 月 3 0 日	WEB 給付費請求業務基礎知識勉強会	1 名
1 1 月 1 7 日	リーダー研修 (Web)	1 名
1 1 月 3 0 日	福祉施設における労務の基礎知識・情報交換会	1 名
1 2 月 1 8 日	合同学習会「医療的ケア児者に対する支援の充 実、これからの医療的ケアを始めるために」 (Web)	1 8 名
1 1 月 3 0 日	福祉施設における労務の基礎知識・情報交換会	1 名
3 月 4 日	人間関係におけるストレスマネジメント (Zoom)	2 名

⑤ その他外部研修

7 月 2 8 日	都通研発達障害研修 (自閉症をとらえなおす) (Web)	1 名
8 月 5 日	食品衛生責任者養成講習会	1 名
9 月 1 4 日	スヌーズレン研修 (島田療育センター)	3 名
1 0 月 2 1 日	コミュニケーション研修 (Web)	1 名
1 0 月 2 6 日	東京ガス BCP 作成研修 (Web)	1 名
1 1 月 4 日	東京都サービス管理責任者等研修演習指導者 養成研修 (Zoom)	1 名
1 1 月 6 日	都通信研第 4 回研修「重症心身障害児の食事～ 一人ひとりにあった食形態と介助」(Web)	1 名

11月20日 11月28日	社会福祉士実習指導者講習会	1名
12月15日 12月17日	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修3期）	1名
1月11日 1月19日	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修3期）	1名
1月26日	ライフステージに沿った個別支援計画を考える（Web）	1名
1月6日 2月7日	令和3年度サービス管理責任者更新研修 1月6日（聴講） 2月7日（Zoom演習）	1名

⑥ 施設内研修

5月19日	自己育成研修	21名
6月1日	手洗い研修	28名
7月14日	NSによるゾーン研修（感染対策）	22名
7月29日	ダウン症協会 ダウン症支援セミナー（Web）①	26名
8月19日	ダウン症協会 ダウン症支援セミナー（Web）②	26名
9月28日	救命救急 AED 研修	10名
10月13日	自閉症フィードバック研修	23名
10月26日	感染症 BCP 策定ポイント（あいおいニッセイ） （Web）	1名
11月28日	発達障害について①（正夢の会）web	2名
12月5日	発達障害について②（正夢の会）web	2名
1月7日	こぶし園利用者の事例報告会（こぶし園）	18名
1月11日	相談支援勉強会（こぶし園） 「地域生活課題と相談支援について」	19名
1月20日	アンガーマネジメント協会アンガーマネジメント研修	30名

(2) 職員育成

人事考課を活用し、承認点、不足点を踏まえた上で個々に合わせた指導・アドバイスをを行い、意識の向上、スキルアップにつなげた。また施設全体として必要不可欠である医療的ケアの知識についても、指導医と連携し園内にて基礎研修を開催するとともに、重心委員会で勉強会を実施した。

① 勉強会

医療的ケアを必要とする利用者が増え、支援員と看護師、理学療法士や作業療法士との連携がより重要となってきた。支援員が中心となって施設内で勉強会を開催し、看護師や専門職の方々からアドバイスをもらいながら支援においての基本的知識を学んだ。

6月17日	PTによるストレッチ研修 (障害特性に応じた身体特徴・ストレッチ体験)	25名
10月27日	PT研修(ストレッチ提供時のリスク管理)	20名
12月17日	指導医研修「嚥下について」	21名
2月16日	PT研修(側わんについて)	20名

14. 労務管理

(1) 職員健康管理

	実施期間	実施人数
定期健康診断	令和3年9月～12月	28名
特定業務従事者健康診断	該当なし	該当なし

(2) 衛生推進体制

職務名	氏名	備考
産業医	該当なし	
衛生管理者	該当なし	
衛生推進者		施設長
衛生委員会	該当なし	

下記の業務を推した。

- ① 労働者の危険又は、健康障害を防止するための措置に関すること。
- ② 労働者の安全又は、衛生のための教育の実施に関すること。
- ③ 健康診断の実施その他健康の保持増進のための措置に関すること。
- ④ 労働災害の原因の調査及び再発防止対策に関すること。

報告事項	件数及び実施日時	その他
①	12回 毎月1回（リーダー会議）	職場の危険個所の確認、ケガ防止の整理実施
②	2回 偶数月（職員会議）	手洗い研修、アンガーマネジメント研修の実施
③	1回 健康診断実施時	2次健康診断の有無の確認
④	5件 ①令和3年4月21日 ②令和3年5月19日 ③令和3年6月8日 ④令和3年9月13日 ⑤令和3年11月10日	発生当日に関係者が集まり、調査及び再発防止対策の検討実施。

（3）ワークライフバランスの推進

- ① 時間外勤務・休日勤務の削減への取組結果
- ② 年次有給休暇の取得しやすい環境の整備への取組結果

時間外勤務・休日出勤 前年度比 <u>(今年度事業所総時間外勤務時間数＋休日出勤時間数)</u> (前年度事業所総時間外勤務時間数＋休日出勤時間数)	84.9% (2079/2446)
年次有給取得率 前年度比 <u>(今年度事業所総有給取得日数)</u> (前年度事業所総有給取得日数)	94.2% (343/364)

（4）職場におけるハラスメント体制

役割	氏名
ハラスメント対応責任者	事務局長
ハラスメント法人本部相談窓口	
ハラスメント事業所相談窓口	施設長
ハラスメント事業所相談窓口	主任支援員
相談実績	0件

（5）メンタルヘルス・ストレスチェック制度

- ① メンタルヘルス
 - ア. 法人外相談窓口 東京メンタルヘルス メンタルサポートネット 利用可能
 - イ. 法人内相談窓口 職員悩みごと相談窓口 相談員 田島玲子 事業所全職員に周知済み
- ② ストレスチェック制度

施規程に基づき当該職員に以下の日程でストレスチェックを実施した。

職務名	氏名
ストレスチェック制度担当者	事務局長
ストレスチェック制度実施者	株式会社 HL&E
ストレスチェック実施実務担当者	人事・労務部門担当職員のみ
面接指導担当医師	株式会社 HL&E 精神科医
実施日程	令和4年2月21日～3月11日

(6) 次世代育成支援

行動計画に基づく取組結果

取組	実績件数・人数
子供参観日	0件

15. 指導・監査等

(1) 福祉サービス第三者評価

今年度「特定非営利活動法人 NPO 専門職ネット」に評価を依頼し、実施した。結果については職員全体で共有し、日々の支援の見直しを行った。

(2) 東京都指導検査

毎年公表される「指定障害者施設等 指導検査基準」をもとに、施設が適正に運営できているかを確認し改善を行った。

16. 決算（別紙）